



発電用ソーラーフィールドの下を有効活用するソーラーシェアリングがよく話題になっております。

元々は休耕田等の空き地利用だったのが、更にパネルの下も畑等に利用しようとする一石二鳥の試みです。

陽が当たらないと、作物が育たないのではと思いがちですが、四六時中陽が当たらなくても、結構野菜は育ってくれます。

また、ソーラーパネルの材料もアモルファス (薄膜結晶) 系のパネルなら透過性もあり、工夫すればビニールハウスに近いソーラーシステムを作る事も出来ます。変換効率が低い難点もありますが、補助電源等に利用するのには十分ですので、ファンを回したり、用水を汲み上げる電動ポンプの電源にしたりと、売電だけではない利用法もありそうです。

更に、ここ富山でもこの時期に既に30℃越えになっているので、真夏には40℃越えも現実味を帯びてきました。比較的暑さに強い夏野菜もさすがにダメになりそうなので、少しでも直射日光を遮ってくれるソーラーシェアリングの普及に拍車がかかるのではないのでしょうか。

- 
- ・ 配信先変更・配信中止は tkz11@tkz.or.jp までご連絡ください。
  - ・ ご意見・ご要望は tkz11@tkz.or.jp までお寄せください。